

(令和2年9月試験研究業務月報)

試験研究課題名：中山間地域の稲作を守り支える集落営農組織におけるスマート農業技術の実証（令和2年度「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト事業」）

研 究

食味・収量コンバインによる収量及び品質の見える化

亀岡市保津町において農林水産省の委託事業「スマート農業実証プロジェクト※」を活用し、実証担当生産者の（農）ほづが中山間地域水稻栽培におけるスマート農業技術・機械の一貫体系について実証を行っています。

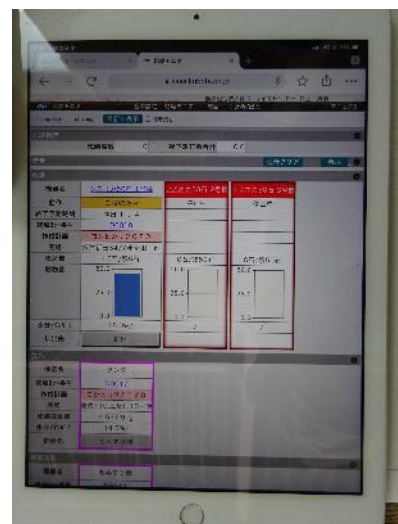
9月14日からの刈り取りでスマート農業機械の一つである食味・収量コンバインの実証を行っています。刈りながら収量や籾水分、玄米タンパク質含有率が把握できるため、水分や品質ごとに仕分けて乾燥が可能で、籾の状態に合わせた乾燥を行うことにより品質の揃った米が出荷できます。

今後、作業性と生産性等を考慮し、中山間地域に適したスマート農業技術・機械を用いた栽培体系の確立に向けた検討を行います。

※ スマート農業の社会実装を加速するため、スマート農業技術・機械の実証を行い、技術導入による経営効果を図る事業（全国で令和元年度採択69地区、令和2年度採択55地区、京都府2地区で実施中）。



食味・収量コンバインによる刈り取り



タブレットへのデータ転送

農 林 セ ン タ ー